

六針刺繍ミシン利用ガイド

概要

業務用刺繍ミシン PR650e は全自動で刺繍することが可能です。

一度に六色の糸を使用できますので多くの色を使用する場合におすすめです。

使用方法

I データ作成・取込

画像データを用意する

Windows Meta File(.WMF)に書出す

刺繍 pro で刺繍データ作成



II 下糸・上糸の準備

下糸をかける

上糸をかける



III 布の準備

接着芯を貼る

刺繍枠をつける



IV 刺繍



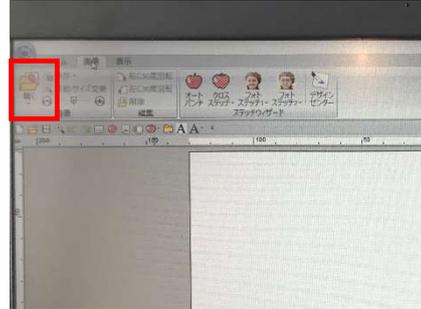
I データ作成・取込

1. イラストデータを作成する

Illustrator などを使用しデータを作成する
Windows Meta File(.WMF)に書出す

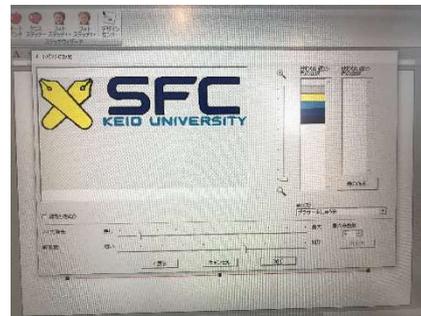
2. 刺しゅう pro で刺繍データを編集する(1)

ファブスペースの備え付け PC から
専用のソフトウェアである刺しゅう pro を起動し
画像タブの「開く」からデータを開く



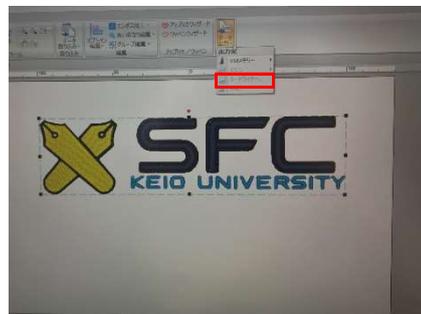
3. 刺しゅう pro で刺繍データを編集する(2)

ステッチ方法を選択し、刺繍箇所、枠の有無、刺繍色の
設定を行う
(画像はオートパンチ方法を選択している)



4. 刺しゅう pro で刺繍データを編集する(3)

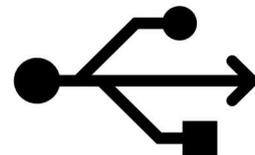
ホームタブの「データ出力」から「USB」を
選択してデータを移動させる



5. 電源をつけ、データを機械に取り込み編集する

電源ボタンは右背面、USB 差込口はディスプレイ側面にある
立ち上がったら USB のファイルからデータを選択する

このマークを選択する



6. 編集 位置調節、拡大縮小

回転や拡大・縮小等を使いデータを刺繍したい布に合わせて調節する



回転



拡大・縮小



7. 編集 色の指定

糸の色を変えることができる
糸コマに装着する順番を確認後、その通りに
上糸をかけていく



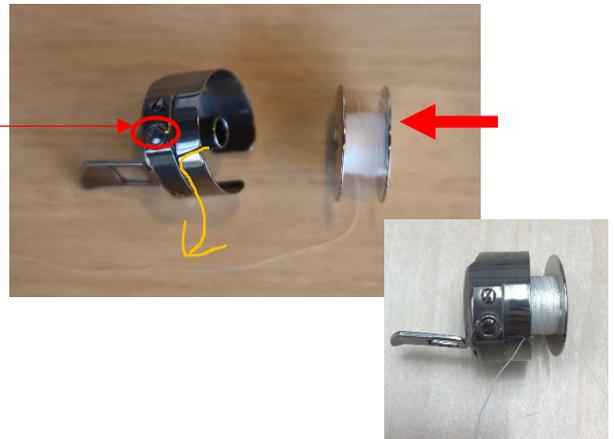
II 下糸・上糸の準備

1. 下糸の準備

専用のポビンに糸を巻き付ける
(巻付け機の利用方法は別紙を参照ください)

2. 下糸をポビンケースにセットする

ポビンケースのマイナスねじ側を正面にし、
ポビンの糸が奥から下手前に来る向きで装着する
装着後隙間に糸を入れ5 cmほど引き出す



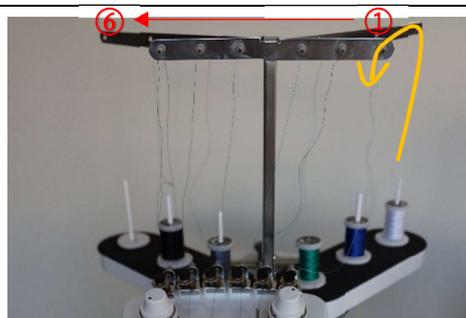
3. ポビンケースを釜にセットする

ポビンケースの凸と釜の凹に合わせて
カチッと音がするまで押し込み、ストッパーを上げる



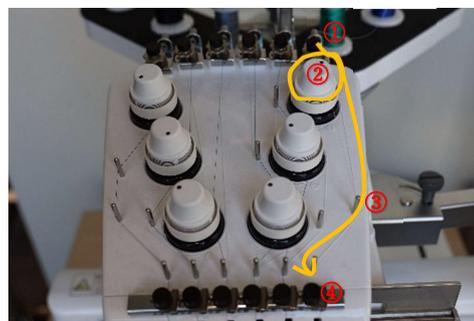
4. 上糸をかける(1)

右から1、2、3…の順番針と対応する糸こまをセットしたら真上の糸案内に通した後、手前の糸案内にも通す



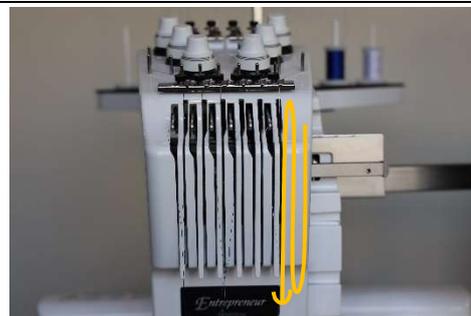
5. 上糸をかける(2)

糸道上の穴に糸を通し、機械の番号の通りにかけていく
①糸道上の穴→糸道上→②回転調子皿(右回り一周)
→③糸案内のピン→④糸道上



6. 上糸をかける(3)

糸案内ミゾに従い糸をかけ、糸道下の穴に通す



7. 上糸をかける(4)

針糸棒かけの間に糸を通す



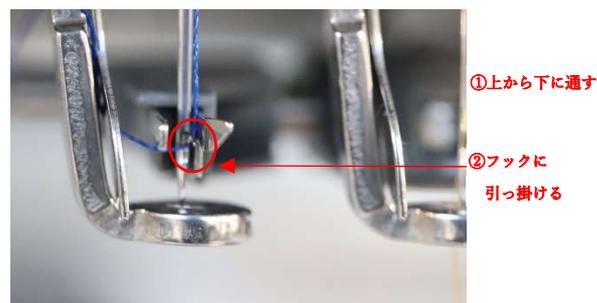
8. 針に糸を通す(1)

①針棒選択ボタンを押し、通したい針番号を選択する
選択できたら②糸通しボタンを押し、自動糸通し装置を出す



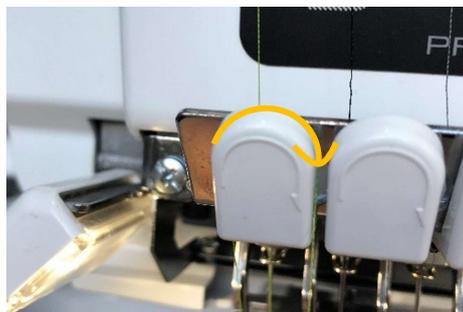
9. 針に糸を通す(2)

①糸を右側からふたまたま部に通し、
②かぎ穴から出ているフックに引っ掛ける



10. 針に糸を通す(3)

糸切糸掛けの溝に糸をひっかけ、
強く引っ張り糸を切る
その後糸通しボタンを押すと針に糸が通る



III 布の準備

1. 接着芯を貼る

接着芯の貼り方は別紙を参照ください
※この時布にアイロンがけをしておくと綺麗に刺繍できます

2. 布を刺繍枠にはめ、機械に装着する

枠のサイズによってアーム幅をねじで調節し、
枠をはめる(このとき刺繍枠は内枠面を上にする)
この向き→



ねじ



IV 刺繍

1. スタートボタンを押す

ディスプレイの左下に表示されているロック解除ボタンを
押した後、スタートボタンを押す



2. 糸を変える※七色以上の場合のみ

マシンの指示に従い刺繍糸を変える